

与論町立与論中学校公開研究会

研究主題

未来開拓力を高め、島立ちに向けて挑戦する生徒の育成
～自己実現のために必要な基礎的・基本的な能力の育成を通して～

〈研究の仮説〉

自己実現のために必要な基礎的・基本的な能力を育成することによって、未来開拓力が高まり、島立ちに向けて挑戦する生徒になるのではないかと。

〈研究の視点1〉

未来開拓力と課題対応力を高めるための基盤づくり

〈研究の視点2〉

未来開拓力と課題対応力を高めるための取組

- 〈取組1〉キャリア教育全体計画の見直し
- 〈取組2〉キャリア教育年間指導計画の作成
- 〈取組3〉キャリア教育の視点を意識した総合的な学習の時間の再構築



テレビ会議による、職業インタビュー

〈取組4〉キャリア教育の視点とつなげた学校行事と自己評価の実施

活動的・汎用的能力	連携力(具体的要素)	自立力(具体的要素)	課題対応力(具体的要素)
行事名			
合唱コンクール	コミュニケーション、責任感	時間の管理	課題対応、忍耐力
体育大会	コミュニケーション	自覚心	実行力
文化祭	コミュニケーション	時間の管理	後取り力、計画立案

〈取組7〉小中高のキャリア教育の連携



【夢シートの活用】



【中高乗り入れ授業】

〈取組5〉教科での実践（指導案へのキャリア教育の視点の挿入）

原	開	考	え	る
4	式・表・グラフの空欄を埋める。	7分	個	◎ 空欄を埋めようとしているか。【問】埋められない生徒を中心に初問指導を行う。
5	答え合わせをする。	5分	一斉	・【問】についていまままで学習してきたものと違うことを気付かせる。
6	【問】について比例・反比例との違いを見つける。	8分	個	・ 比例・反比例と比べさせ、式・表・グラフについてそれぞれ違いを見つけさせる。
7	グループで意見交換をする。	8分	グループ	◎ 自分の考えを持てたか。【問】【思考を深める活動】 ・ それぞれ見つけたことを発表させ、小黑板にまとめる。【問】 ・ グループごとにそれぞれ小黑板を使って意見を提示させる。
8	グループで出した意見を全体でまとめる。	5分	一斉	・ 比例・反比例と比較をして1次開放の特徴をまとめる。【問】 【よりよいものにもとめる活動】

〈取組6〉「弁当の日」の実践



生徒の感想

「今回の弁当作りの目標は「効率的に作る1日」でした。しかし、弁当作りを初めてみて、効率的でなかったと感じました。朝の日に準備してなかったのが、大きな原因だと感じます。今回、準備の大切さを学びました。次回は、今回より効率よく活動が出来るようにしたいです。」

保護者の感想

「小学校からの積み重ねは素晴らしいもので、冷蔵庫にある食材を使って作っていました。手際も良く、母より素晴らしい発想のお弁当にびっくりしました。様々な取組がありとうございます。」

【公開研究会当日の様子】



【1年生：学級活動】
「自分を見つめ直そう」



【2年生：音楽】
「歌のアルバム さくら草」



【3年生：総合的な学習の時間】
「卒業に向けて」



【分科会の意見交換から】

- ・ 島立ちを見据えて、キャリア教育の視点をもって郷土教育を実践していく取組を、各小学校で進めていく方がよい。
- ・ 自信をもって島立ちさせるためには、キャリア教育の視点をもちながら全ての教育活動をつなぐと同時に、学力をつけさせることを意識する必要があるのではないかと。

【今後の課題】

- △ 小中高でキャリア教育の位置づけを明確にし、更なる連携を深め、今年度から始めた夢カード等の実践を継続的に行っていく。
- △ 生徒一人ひとりのキャリアの発達を促していくため、学習面での個別指導の充実、特に力を発揮できていない生徒への対応の充実を図る。

【研究の成果】

- 全職員がキャリア教育についての理解を深め、一丸となって教育活動を推進することができた。
- 生徒自身が行事の意義や目的を理解し、生徒主体で学校行事を成功させるために計画的に練習等に取り組むなど、「課題対応能力」の高まりがみられた。
- 中学校が核となり小学校や高等学校とも連携した取組をスタートさせることができた。
- 自分の将来に向き合い夢実現のために、必要なこと今やるべきことなどを生徒に考えさせる機会が増え、自己実現のために必要な基礎的・基本的な能力が育成されつつあることが、アンケート結果にも表れている。